

中小企業ぐんま

新春特別企画
業界・組合リーダーの年頭所感

VOL.519
2005.

1



群馬県中小企業団体中央会

《特集記事》

●新年挨拶2

群馬県中小企業団体中央会会長

岸 正路

群馬県知事

小寺 弘之

商工中金前橋支店支店長

砂土居義博

全国中小企業団体中央会会長

石川 忠

●新春特別企画6

業界・組合リーダーの年頭所感

●新年名刺広告14

全国事例・組合情報

.....20

情報連絡員だより

.....21

お知らせコーナー

.....22

〈表紙の写真〉利根川に架かる上毛大橋よりの初日の出

経済乃カサ

Ⅰ T企業はなぜ儲かる？

昨年、プロ野球界参入で火花を散らした楽天とライブドア、そしてダイエー球団を買収したソフトバンク。いずれも急成長のⅠ T関連企業であり、巨額の資金をどう稼ぐのか、誰しもが興味を持ったところである。

楽天は、現在は旅行や証券取引業務なども手掛けるが、もともとは三木谷社長が97年に「楽天市場」として創業、ネット上のサイトで買い物をする人のための仮想商店街で話題となった。現在出店数は1万社を超え、昨年の売上高は約180億円にも達するという。そして土地代や建物建設費などの不動産投資がゼロというのが何よりの強みといえる。

ライブドアは、堀江社長が東大在学中の96年に前身の会社を設立、コンピュータネットワークに関するコン

サルティングやネットワーク管理などを行うプロバイダーだったが、会計ソフトメーカーの弥生、日本グローバル証券等を買収し、楽天同様に証券取引業務も手掛け、最近では地方競馬への参入計画が話題となった。堀江社長はすべての事業をインターネットに結び付けていく、との気構えを語っている。

ソフトバンクも孫正義氏が米国で培ったベンチャースピリットで24歳で立ち上げたパソコンソフトの卸売会社からスタート。インターネットビジネスを積極展開、販路拡大に伴う企業買収を繰り返し、来年度はグループ売上1兆円突破の可能性が高いという。

Ⅰ T企業も今や裾野が広く、優勝劣敗の生き残り競争がすさまじいが、この3社に共通しているのは機を見るに敏な経営感覚と、買収戦略などにみられる果敢な行動力といえそう。今後も様々な事業分野への進出をめぐってⅠ T企業同士の熾烈な戦いが続きそう。

新春を迎えて



群馬県中小企業団体中央会

会長 岸 正路

新年を迎え、会員並びに関係各位におかれましては、ご健勝にて新年をお過ごしのこととま
ずもってお慶び申し上げます。

昨年は実に多事多難な年でありました。記録
的な猛暑と相次ぐ台風の上陸、そして新潟県中
越地震と、各地で大災害が発生し、痛ましい事
態となりました。被災者の皆様には心よりお見
舞い申し上げます。一日も早い復興を切に願うもの
であります。更に、信じ難いような事件や事故
も数多く発生し、社会の退廃が懸念されること
ろとなりました。また、国際的にもイラク情勢
の混乱に加え、北朝鮮問題も先行き不透明な状
況が続きました。

このような社会情勢下にあつて、わが国経済
は、輸出と設備投資の伸びに支えられ、景気回
復の途を辿って参りましたが、原油価格の高
騰、デジタル関連分野の調整局面入りなど、回

復テンポの減速が懸念され、年後半の七、九月
期のGDPショック、年末に至つての急激な円
高等、景気の先行きに懸念を抱きながらの越年
となりました。

中小企業においては、大企業中心の景気回復
の中にあつて、取引先からの厳しいコストダウ
ン要請や鋼材等の原材料の逼迫、燃料の急騰な
どにより収益の悪化を余儀なくされ、依然とし
て厳しい経営状況が続いております。加えて公
共工事の減少による中小建設関連業界の苦況、
依然として歯止めがからない中心市街地の空
洞化の進む中小商店の経営は益々深刻の度を増
しており、総じて中小企業においては、業種間、
地域間、企業間の格差が顕著なものとなつてお
ります。

施策面では国家的課題としての財政再建が進
められる中、国庫補助金の縮減を目的とした三

位一体改革が議論されており、中小企業対策予
算も厳しい情勢で、予断を許さぬ状況下にある
ます。厳しい中小企業情勢に対して施策を後退
させることなく、一層強化することを願うこと
であります。

本会では、このような情勢を充分認識し、役
職員一同決意も新たに事業の充実強化を図り、
組合が時代に即応した事業を展開し、組合員企
業の核となれるよう組合活動を一層強力に支援
していく所存であります。更に各種の中小企業
組織を視野に入れ、経営革新に向けた連携強
化、企業組合制度を活用した創業の推進等に積
極的に取り組んで参ります。又、市町村合併に
伴う組織の再編や統廃合に対し、地域の実情に
合った組合組織の再構築も重要な課題として取
り組んでいく所存であります。一方、少子高齢
化が進み、人口減少社会が目前に迫っている今
日、高齢者並びに若年労働者の雇用問題に関
する事業も展開していく所存であります。今後
共一層、県ご当局を始め、関係各機関のご高配
並びに会員の方々の皆様のご協力をお願いする次第で
あります。

本年も激しい変化と厳しい経営環境が続くの
は必至であります。知恵を寄せ、人材を活かし
て乗り切っていくしかありません。平成十七年
の西の年が皆様にとりまして明るい展望のもと
に、より大きく羽ばたくことのできる年となり
ますよう祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたし
ます。

年頭のごあいさつ

群馬県知事



小寺弘之

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、十月に常陸宮同妃両殿下のご臨席を賜り、全国から一万人の選手をお迎えして「ねりんピックぐんま（第十七回全国健康福祉祭群馬大会）」を開催いたしました。この大会のテーマ「ぐんま発の応援歌」にふさわしく、多くの人たちの活躍が日本全国に元気と勇気を与えてくれたことと思います。

さらに、十一月には天皇后陛下が、デンマーク女王陛下および王配殿下をご案内され本県をご訪問されました。県民の皆さんとともに迎え、群馬県が誇る伝統工芸や郷土芸能、そして群馬交響楽団の移動音楽教室をご覧いただくことができたことを大変うれしく思います。

一方で、浅間山の噴火や新潟県中越地震などが発生し、自然災害に対する日ごろの備えの重要性を改めて痛感させられた年でもありました。

幸いにも本県には大きな被害はありませんでしたが、県として全庁を挙げてこの緊急事態に対処いたしました。また、ボランティア活動や義援金など、多くの県民の皆さんから温かいご支援をいただき深く感謝申し上げます。今回の経験を生かして、今後とも県民の生命と財産を守るため万全を期していきたいと思っております。

私は、今、群馬県は新しい時代、いわば「ぐんま新時代」を迎えているのではないかと思っております。そして、この「ぐんま新時代」を確かなものにしていくためには、県政の主役である県民の皆さんの県政への積極的な参画が何よりも大切であると考えております。県民と県政の距離をできるだけ縮め、県民の皆さんと一緒に考え、行動する県政を今後とも進めていきたいと考えております。

二百万県民が明るく健康でご活躍されるとともに、元気で躍動的な年になりますよう心からお祈り申し上げます。

平成十七年一月一日



年頭挨拶



商工中金 前橋支店

支店長 砂土居 義博

平成十七年の新年を迎えるにあたりまして、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶にさせていただきます。

平成十六年を振り返って見ますと、地震、台風、豪雨と大きな自然災害に見舞われた年ではなかったかと思えます。昭和初期に寺田寅彦という人が、日本列島の自然というのは、ものすごく不安定だということを言っています。その不安定さの原因が、地震・台風・洪水であつて、これはもう百年、二百年の問題ではなく、まさに千年、二千年の長期にわたって続いてきた自然的条件だったから、そういう自然がひとたび暴れ出し、猛威をふるうとき、日本人は、もう

自然の脅威の前に頭をたれるほかはなかった、と。日常的には、そういう災害時のためにできるだけの備えはしておくのだが、いったん自然が暴れはじめたら、どうしようもない。一種のあきらめの状態の中でじっと我慢をしている。ただ、それはたんに悲観的なあきらめというのではない。「天然の無常」という独特の自然感覚だ、と。その感覚を抱いて、自然の猛威に対処し、自然がひきおこす災害に耐えてきた。こういうことを寺田寅彦さんは言っております。こうした不安定さは自然界のみならず、最近の経済界においても変化の激しさという形で我々の目の前に現われていると思います。しか

も変化のスピードというのは緩むどころかますます速くなっていくような気がいたします。

このような変化の激しい時代にどう対応していくか、ということですが、そこには先ほど述べた「天然の無常」と似た感覚を持つ必要があるのではないかと思います。その一つは『老子』の中にある「天地是不仁なり。万物をもつて芻狗となす。聖人は不仁なり。百姓をもつて芻狗となす」という考えだと思います。芻狗とは祭りに用いる草で作った犬のことで、ここで言わんとするのは祭りのときは金銀紅白で飾られて壇の上へ祭られ大事にされるが、祭りがすめばその辺に放り出されて人の踏むにまかせ一顧もされない。この世のことは万事こんなものだという意だろうと思います。

市場に流れている商品が早いスピードで交代する今の時代ですが、それを憤慨したり恨んだりするのは甲斐のあることではないのではないかと。むしろ昔からよくあることだと思います。次のステップに早く踏み出した方がよいのではないかと思います。頭脳を鋭利にするのも良いのですが、骨も太くしなければならぬと思います。葉や花の盛んなのは良いのですが、根をさらに太くする必要があるのでないかと思えます。根が強ければ、筍のように思わぬところに芽を出すことも出来るといえるのではないかと考えております。

終わりに、皆様のご健勝を祈念しつつ、新年のご挨拶いたします。

年頭に当たって



全国中小企業団体中央会

会長 石川 忠

明けましておめでとうございます。

平成十七年の年頭に当たり、全国の中小企業の皆様並びに中小企業組合等中小企業団体の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

顧みますと、昨年は、倒産件数は減少傾向を示したものの、多くの中小企業は依然として収益低迷と過剰債務に悩まされ、倒産リスクが解消されないままに推移し、失業率が依然五%に近い水準で、また、完全失業者数も三百万人を超えるなど不安定な経済社会状況で推移いたしました。また、昨年は、過去最高を数える台風の上陸、新潟県中越地震の発生と、正に天災に明け暮れた一年でありました。さらに「国から地方へ」、「官から民へ」の方針の下、地方分権と財政再建を同時に目指し、国庫補助金、税源

移譲、地方交付税の三位一体の改革の議論が進められるなど、特に、地域中小企業に不安を与える動きが活発化した年でもありました。

依然として続く長期にわたるデフレ不況、円高の進行下、先行きが見えない極めて厳しい状況のまま新年を迎えることとなりました。

このような環境下においては、一日も早く景気回復の効果が広く及ぼされ、中小企業が元氣を出して頑張れるような政策展開が何よりも不可欠であり、また、全国の中小企業がどの地域においても政策支援を受けられるよう十分な環境を整えることが重要であります。

また、現在、国を挙げて世界最高水準の科学技術創造立国の実現、とりわけ、産学官連携の強化が重要課題とされる中、これを広汎に推進

していくためには、より多くの中小企業が大学・研究機関との連携を大きく進めていく必要があります。その際、中小企業組合を連携の中核に位置づけることが極めて有効であると思います。

いずれにしても、今年こそは、日夜懸命な経営努力を続けている中小企業が報われ、希望の光が燦々と差し込む年としたいものであります。

全国中央会は、「行動する中央会」、「提案する中央会」として、また、中小企業組合運動の中核的組織体として、四十七都道府県中央会とともに、全国四万を超える中小企業組合等中小企業団体と一層連携を深め、中小企業の皆様のご期待に応えるため、その先頭に立って全力を傾注して参る所存であります。

中小企業組合等中小企業団体の皆様におかれましても、団結を第一に、中小企業の発展のため、共に力強く邁進いただきますようお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって明るい年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成十七年 元旦



業界・組合リーダーの 年頭所感 2005

新年を迎え、業界並びに中小企業組合リーダーの皆様、業界の現状・新年の展望・決意などについて、ご寄稿いただきました。

—順不同・敬称略—



製造業

群馬県製粉工業協同組合

理事長 曾 我 隆 一

昨年は相次ぐ天災に大きな被害が発生しましたが、本県にとっても災害の突然の襲来は、防災上大きな教訓を残しました。

さて、今年は昨年から続く原油高と為替相場の円高の影響が懸念されます。しかし、一九七〇年代のオイルショックを乗り越えた日本人の知恵が今回も強力に発揮されて、最小限のところで食い止めることを期待します。その理由の一つとして、人件費を目玉に東南アジア特に中国からの輸出攻勢が近年続き、デフレに拍車をかけてきました。ここに至って石油や鋼材の高騰により、輸出ドライブが弱まりつつあると思います。その点で冷静に国際競争力のあり方を見直す時期でもあります。

もう一つ、これから世界的に見ても大きな課題は「水」資源です。日本は世界で一番の水輸入国であることを多くの国民は気づいてい

ません。一トンの穀物を生産するのに千トンの水が必要です。

今年みなさんと一緒に真面目に「水」について考えてみましょう。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

理事長 町 田 錦一郎

ものゝ芽のあらはれ出でし大事故かな、このちよつとした一瞬が初春の光の下では新たな感興を覚え、輪廻の妙と小さな勇気が与えられます。新春の曙光のきざしを言祝ぎ、新年明けましておめでとうございます。

いわゆる、爾来十数年、散乱状態の経済も漸く巨視的（中央、大企業）には回復軌道に乗ったやに伝えられております。諸元の指し示す指標等を素直に観ればそのようですし、それはそれで吉兆として喜ばしいことでしょう。

しかし、微視的（地方、中・小）にはその波及は未だしどころか、停滞、右肩下がり感の二極化の定着すら懸念されております。はたして、このまゝ従来型のパターン

循環が期待できるかについては、大いに懐疑的と言わざるを得ません。ただ今の景況感を人は評して、親（政府、財政）がなにもやらなかったから、子が自在に必死の形相で歯を食い縛り、乾いた雑巾を更に絞りに絞った結果だと。まあ言い得て妙でしょうが、パラドックスにこの事象を深読みしますと、ひとつの条理の暗示と方向性の示唆を感じるのは私だけではないと思います。

さあ、今年も揺るぎない気持ちで立ち向かい、エンドユーザーに安全で、夢と、幸せを感じてもらえる商品提供とコンプライアンス精神で社会貢献させていただきたいと存じます。

最後に、今年一年が皆様にとって確たる展望と希望汪溢の年となりますよう心より願うものであります。

高崎機械工業協同組合

理事長 川 嶋 淳

昨年は、大企業の多くで業績の回復がみられ、一部の企業では空前の利益を生み、景気回復の局面にあると報道されておりました

が、我々中小企業は量的な繁忙傾向はあるものの、原材料の高騰、原油価格に端を発した油製品の急騰、発注先よりの単価引下げ要求等が起因し、利益を確保することが出来ず、依然として厳しい状況下にあったことは否めません。

また、過剰債務から起こる企業廃業率は、相変わらず高い推移を示し、完全失業者も依然として三百万人を上回っており、まだ景気回復を実感できないのが現実です。

このような状況下で、我々中小企業が生き残るには、強固な経営基盤を確立し、新技術導入に積極的に取り組むとともに、変動する経済環境を認識し、迅速な対応の実現に努めていかなければならないと考えております。

伊勢崎南工業団地協同組合

理事長 細 木 栄

新しき今年はどうなるでしょうか。不安のなかで幕が開かれました。バブル経済がはじけて十三年。デフレ不況が今も続いています。モノづくりよりもマネーゲームにうつつてぬかした資本主義の最悪の欠陥であったことを思い知

らされました。

昨年の十一月、日銀はあと二年でデフレを押さえられるだろう、と発言していました。そうあって欲しいと願っているのは、我々中小企業であります。今、この国は「カネ」より「モノ」を尊ぶ社会に向かっています。これからは、その「モノづくり」に我々製造業が、元氣を出して新しい年に臨もうではありませんか。社会のため、自分たちのためにも。

太田機械金属工業協同組合

理事長 吉 川 彰 充

平成十七年は、各製造業とも苦しいなかで、組合員そろって新春を迎えることができました。

これも関係機関、団体等のご指導、ご支援はもとより、組合員各位のためまぬ努力の賜ものと深く感謝しております。

昨年は、組合活性化を目指して「中小企業人材確保推進事業」に取り組み、異業種企業との交流会や優良事業所視察研修をはじめ、雇用環境改善に資するため、高齢者活用研修会、従業員福祉厚生意識調査や脳の健康診断を実施する

など、従業員の健康管理に努めてきました。

本年度も引き続いて、これらの事業のPRに努め、新しい事業に意欲的に取り組むなど、さらに充実させ、補助事業を効率的に活用し、組合員企業の活性化と持続的繁栄に努めていきたいと考えております。

桐生織物協同組合

理事長 柿 沼 洋 一

昨年を顧みますと、相次ぐ台風や新潟県中越地震など、景気回復に水をさす暗いニュースの多い一年でありました。そんな中で、アテネオリンピックの日本選手団の活躍は明るく勇気を与えてくれました。

桐生織物は、主に婦人服地と和装織物を製造する産地であります。諸外国の攻勢や生活習慣の変化により、厳しい状況下に置かれておりますが、個性豊かな時代を見据え、より工夫された物づくりに励んで行きたいと考えております。

これら創造された商品は組合を核とした展示会等でご紹介いたしたいと存じますので、関係各位の

より一層のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。新年のご挨拶といたします。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 小林 美知夫

顧みますと、昨年は景気回復を期待したところでありましたが、公共投資の抑制、民間設備投資も都市部では活発であるものの、地方では依然として低迷しており、又、個人消費低迷等により依然として底の見えない状態で推移しています。

我々、生コンクリート産業は公共工事・民間工事の建設等に豊かな国土建設の基礎資材を製造・供給する産業であり、地域社会の発展に欠くことのできない産業として社会的使命の達成に努めているところであります。今後も、産・官・学で構成されている品質管理監査とともに、顧客のニーズに定める品質の品物をお届けする所存です。

本年も昨年同様大変厳しいことと想定されますが、組合員一同、地域社会発展のために取り組んでまいり所存でございますので、尚

一層のご指導をお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝、ご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 永井 巖

昨年当初からの経済状況は、全国的に上向き傾向ではありましたが、我々麺業界では、いまだにその気配が見えてこないままです。

平成十五年度より食品衛生法の改正、JAS規格の改訂等があり、消費者からの安心安全の要求にこたえるべく施策が打ち出されているところですが、小麦とアレルギーマイのテレビ放映、うどんの不適正表示と大きな問題が起こり、少なからぬ影響を受けているところですが、誤った風評や、ちよつとしたミス・油断が大きな結果につながっていることは、関係者として肝に銘じなければいけないと思っています。組合としてはこれらの状況を的確に判断して、情報の提供に努め、組合員全員が健全な状態で経営に当たれるよう側面的な応援を継続してまいりたいと思います。

全麺連・全乾麺の上部団体から応援をいただきながら事業を進めてまいりますが、県中小企業団体中央会や関係する行政の皆さんの変わらぬご指導を切にお願いいたします。

群馬県菓子工業組合

理事長 小林 大治

昨年を振り返って見ますと、天候不順による原材料の高騰、それも漸く沈静化したと思われる頃、石油製品、就中、包装材料の値上がり、打ち続く不況と、所謂どん底景気の中に喘いでいる業界にとつては、踏んだり蹴つたりの有様で本当に我慢の一年でした。しかしながら、年末に行われた、県庁広間を彩る秋の風物詩として恒例化し定着した第五回群馬の菓子フェスティバルの盛況振りをみると、この不況にも負けず力強く立ち上がろうとしている群馬の菓子業界の健在振りがアピール出来たと思っています。

今年はホームページの設定等情報活動に力を注ぎ、組合の活性化を図り、明るい展望を期待したいと思っています。よろしくご指

導をお願いいたします。

社団法人群馬県金属プレス工業会

会長 梅澤 淳一

昨年は、県内景気に若干の明るさが見えはじめたものの、中小製造業においては、国際情勢不安や異常気象・自然災害等の影響、また、鋼材需給のバランスが崩れたことにより原材料価格が高騰を続け、受注の伸びが企業収益に反映されない厳しい経営状況にあります。また、取引先からのコストダウン要請や品質向上・納期短縮の圧力は、ここにきて一層強まる傾向にあり、極めて苦しい立場に置かれております。

このような状況の下、多様化する社会変化への製品技術の対応と低価格・高付加価値化等によって、経営の自立と存在価値が社会的に認められる個性的な企業づくりに努めなければならぬと考えております。今後とも関係機関のご指導・ご協力を賜り、業界全体の向上・発展に寄与すべく努力する所存でございますので、宜しくお願い致します。

群馬県印刷工業組合

理事長 吉田 吉太郎

印刷業界全体の構造が時代に対応できない過渡期にあつて、従来の経営方策では先が見えない状況にあります。激変状況は紙値上げ、需要減、需要エリアの拡大等による赤字受注が大きな課題となつています。顧客ニーズが多様化し、製造、生産による解決だけでは改善できません。

需要ニーズを把握吸収した足腰の強い改善が抜本的に必須条件であり、業態変革推進プランを組合の基本とした共存・共生・共学による目標を明確にすることが第一歩であります。百社百様の各社の特徴を基本資源とした自助努力が、将来の印刷メディアを新たに創成する道標であり、さらにクロスする条件としてITコンテンツを融合させる工夫が最大課題となります。

今、印刷業界では、さらなる勇氣・挑戦によつて、二十一世紀の印刷メディア誕生に向けた希望ある取り組みが、企業の大小を問わず始まっています。

当組合では、組合員の理解と協力の下、以下の事業を推進していきたいと考えております。

- 一、組合活性化への基本目標設定
- ① 価格破壊防止とモラル認識のキャンペーン及び官公需の製造請負入札推進
- ② 環境激変への業態変革対応等、業態変革推進プランの共学
- ③ 各社の経営財務管理の徹底したシステムづくりと体質強化研究
- ④ 組合員企業へのサービス事業
- 二、営業士資格者への重点セミナーの開催
- 三、組合の組織、機能の見直しと分担シフト
- 四、青年部会の再編と活性化事業
- 五、組合員加入増強促進と組合加入メリットの推進パンフレットづくり



非製造業

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 永井 克弘

新年にあたり、今年こそは、穏やかな暮らしができるよう願っております。

ようやく景気の回復の兆しがみえてきましたが、我々中小企業者を抱えている組合は、今もなお、経営健全化のために、懸命に努力を行っているのが現状です。

さて、当組合で本年は「指定管理者制度」対応が大きな課題となつてきました。規制緩和の一環で、「公の施設」の管理運営を民営化するものです。我々ビルメンテナンス業者は清掃、設備、警備で何らかの係りを施設に對してもつています。これらの施設を一括民営化された場合、清掃だけとかの仕事が無くなる可能性ができました。

本年は組合員一致団結のもと、その英知を集結し、何とか現状の仕事が続けられるよう、関係官庁のご援助をいただき、乗り切りたいと思っています。

本年が明るい年でありますよう祈念致します。

群馬県石油協同組合

理事長 岡田 昌之

昨年の石油業界は、原油価格の高騰が続く、消費者への価格転嫁が難しく、厳しい環境が続きましたが、今年も昨年程ではないにしても、原油価格は高値で推移すると思われまふ。

当組合といたしましては、石油製品の安定供給を図りつつ、消費者から信頼される石油業界構築を目指し、ローコスト経営の確立と自助努力による経営安定を図るための情報提供を行い、共同事業の充実を図るとともに、かけこみ一〇番等の社会貢献活動の実施や、車の無料安全点検等、消費者に對しましても情報提供活動を継続的に実施。また、不正軽油撲滅協議会を通して、税収アップに協力するとともに、公正な市場環境づくりに取り組んでいきたいと考えております。

群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合

理事長 入内島 一 崇

当組合は、観光団体の一員として誘客宣伝事業と連携して、お客様が安心して宿泊し満足感が得られる宿づくりを心がけています。

しかし、昨年は、温泉の表示問題で利用者の皆様に大変ご迷惑をおかけしました。今後は初心にかえり適切な表示に努める所存です。

また、浅間山の噴火や新潟県中越地震の風評被害で予約のキャンセルが相次ぎ、旅行者の足が遠のいていることなど宿泊業界は大変厳しい経営環境にあります。このような辛い時こそ業界が結束し、希望をもって頑張りたいと心新たに決意しています。

幸いなことに、当組合の青年部は昨年、弛みない日常の諸活動が全国組織から認められ、グランプリ賞を受賞するなど、後継者として着実に成長しています。誠に頼もしい限りであり、関係機関のご指導に感謝しています。

本年が平安でありますよう祈念いたします。

協同組合前橋問屋センター

理事長 曾 我 孝 之

昨年は、需要の拡大や株価の上昇など大手製造業を中心にゆるやかに景気回復の兆しが見えてまいりましたが、中小企業にとってはその実感に乏しく、卸売業を取り巻く経営環境も依然として、長期的消費需要の落ち込み、コストの上昇に加え、近年の急激な流通構造の変化等により厳しい一年でありました。

このような状況下、組合としては、関係機関並びに地域と連携を図り、組合組織と組合員相互の力を結集して、組合資産の有効活用や卸団地全体の活性化に努めてまいりたいと考えております。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県自転車軽自動車商協同組合

理事長 田 中 信太郎

組合員の高齢化と減少等を踏まえ、若返りのための意識改革を押し進めるため、情報の収集や研修会の開催等を行い、環境の改善に

努めたい。自転車の安全対策において、昨年来より業界で、国の安全基準を上まわるBAA基準によって、安全と安心を消費者に提供し、自転車の安全利用促進のために本年も引き続き頑張り、地域社会に貢献できるように努めたい。

本年も引き続き春の需要対策について売出しを企画し、賞品として郵便局のふるさと小包のパックの品物を選択してもらおう。又、日帰りのバスツアー、海外ツアーなどを準備しており、新年早々より売出しを行うよう、組合員全体の参加を呼びかけて、盛上がりを期待し、業界の発展のために尽くしたい。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 糸 井 良 一

わが国経済も全体としては回復基調のもとに堅調に推移しつつありますが、地域経済を支える中小企業はまだまだ厳しい環境下にあるのが実態です。

大店法が廃止され、まちづくり三法ができましたが、これがまさにザル法で、大型店の出店は自由で郊外に数万平方メートルの店舗

を作り、数千台の駐車場をもち数百億を売り上げているのが現実です。これにより中心市街地の商店街は地盤沈下を起こし、苦労しているのが現状です。

今、経済四団体の中央会、商工会議所、商工会、全振連で三法の見直しを国に要請しているとありますが、我々も危機感を持って商品開発、販売促進に努力しなければならぬと思います。

終わりに、今年が良き年になりますよう、頑張っていきたいと思っております。

群馬県電機商業組合

理事長 濱 川 祐 作

昨年は中央会のご推薦を賜り優良組合として経済産業大臣表彰の栄に浴し、組合員一同、心より喜んでおります。

我々を取り巻く環境は、高齢化とデジタル化の社会へと突入しています。親切できめ細かなアフターサービスやメンテナンス、使用説明など必要不可欠のものとなっています。今こそ地域に密着した組合員店は地域専門店としての存在意義があり、果たす役割も

誠に重要であります。

群馬県電機商業組合としても、役員、組合員が一丸となって数々の事業を展開していますが、さらに英知を結集し、組織の拡充を図り、消費者の信頼確立と組合員店の繁栄のために努力をしてみたいと思っています。

ぐんま共済

理事長 田部井 俊 勝

当組合の共済事業につきまして日頃格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当組合は設立以来、県内の火災及び事故にあつた組合員の企業再建を扶けるため、各種共済事業の拡大を進めてまいりました。激動する社会情勢のなかで、中小企業事業者を様々な災害からお守りし、経営の安定に資するため共済事業の役割は一層重要なものとなっております。

当組合は今日までの実績を基礎とし、今後とも中小企業者のための総合的共済制度の確立のため、懸命に努力を重ねて参りたいと存じますので、何卒倍旧の御引立てを賜りますよう、よろしくお願い

申し上げます。

群馬県自動車車体整備協同組合

理事長 松 田 源 治

世の中では景気回復の兆しが徐々になされてきたかのようでありますが、我々にとっては肌で感じられず、相変わらずの景気低迷の中、悪戦苦闘しているのが実感です。

昨年に続いて、地球にやさしい環境づくりの一環として、フロン回収法、リサイクル法、使用済みの自動車の処理等難しい問題に取り組み、組合員一同勉強して参りたいと思います。

また、技術面においても、組合組織の充実を図り、情報提供に努めて参ります。今年もご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

群馬県電気工事工業組合

理事長 深 井 学

我々、電気工事業界は、昨年は厳しい一年となりました。公共事業の減少とともに、エネルギー資源(ガソリン等)の高騰等によるこ

とが原因かと思われます。

電気工事業界における組合員の活性化対策として、お客様に「提案型技術営業」を推進し、組合員が自らお客様と相談し元請業者となり、電気的安全性等をPRし顧客の獲得に努める対策を推し進め、「電気・元気」をテーマに企業の活性化に努める次第です。

次に、組合員後継者問題が重要な対策と見て、より良い青年部活動を通してPRし、昨年は群馬県工業高校生の電気工事コンテストにも審査員を派遣し、PRに努めました。

昨年、中央会事業の一環としてご支援をいただき、組合として取り組みましたISO9001の取得につき、継続実施し、お客様に信頼、信用される組合を目指し、本組合事業の重点施策として、認証取得に努める所存です。

群馬県柔道整復師協同組合

理事長 櫻 井 弘

今年は養成学校の卒業生数が昨年の二倍近くとなります。また現在政府が進めている医療制度改革の行方によつては、その影響を強

く受ける可能性がある等、私どもの業界を取り巻く環境は、相変わらず厳しい状況が続くと予想されます。

組合としては組合員の経済基盤の確立に資するため、レセプト用コンピュータソフトの安価な提供、居宅介護支援事業の拡張、生命保険、損害保険の団体扱いの推進等、昨年と同様に事業の充実を図りたいと考えております。

また、組合の利益を組合員に直接還元する方法について、新たな選択肢の中からも実行したいと思っております。

今後とも関係機関各位のご指導、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 武 井 宏

昨年は、燃料価格の高騰、環境対策への対応等による物流コストが大幅にアップ、更に社会的規制は強化されるなど、物流業界を取り巻く環境は一段と厳しさが増大しております。

このような中であつて、当組合は一昨年結成五十周年を迎え、こ

れを節目に、よりよい組合作りに取り組むため、組合員のニーズ調査を実施。新年度を迎えるにあたって、

一、物流情報センター機能とヒューマンネットワークの強化
二、リスクマネジメント機能の強化

三、組合員の経営管理レベル向上機能の強化

四、コンプライアンス経営の実践
これら四つの機能を基礎として、組合の役割を再構築し、更なる組合員企業の発展の為に環境の変化に適応した組合事業活動を積極的に推進してまいります。

今後とも関係機関各位のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

群馬県不動産事業協同組合

理事長 新野 節郎

昨年を顧みますと、総会において任期満了に伴う役員改選が行われ、わたくし新野理事長、三井・今泉両副理事長をはじめ任期二年間の理事・監事が選任されました。

巷では、アテネオリンピックにおける多数の金メダルの獲得で沸いた反面、猛暑、数多くの台風襲

来、そして最も悲惨な新潟中越地震災害が発生しました。幸いにして、当県においては、天災による被害は免れました。

こうした年ではありましたが、NTT東日本のBフレッツ・マンションタイプ設備設置取次ぎ手数料収入が好調に推移し、三学年度末には、繰越欠損金は解消される見込みであります。

賃貸管理業務に伴う、賃貸住宅入居者の火災、賠償責任、修理工等を保障する「宅建ファミリ共同済」業務協定書を昨年十月に締結いたしました。

なお、住宅金融公庫が二〇〇六年度末に独立行政法人に移行することにより、公庫の長期・固定の新型住宅ローンを専門に取り扱う「宅建連・住宅ローン会社」（仮称）設立を決定し、二〇〇五年中に取り扱いが実施される見通しであります。

昨年九月期・上場企業のうち多数の企業業績が好調であったと、報道されております。我々周辺における好調感を感じられませんが、組合員各位の知恵と気力を結集して、今年は好調感を肌で実感できる事を念頭に置き、当組合の

事業を実施してまいります。

今年の各位のご多幸、ご繁栄を祈念いたしまして年始の挨拶いたします。

高崎卸商社街協同組合

理事長 岡村 晶夫

卸売業を取り巻く経営環境は、流通構造の変化、あるいは消費者志向の変化等から、ますます厳しい状況を迎えているのが現状です。

昨年十月十六日、高崎問屋町駅が開業いたしました。こうした環境変化の要因の中で、四月からは、高崎市の条例による問屋町まちづくりの地区計画がスタートし、将来に向け流通業を中心とした商業集積地として、更なる発展の基礎が確立できたものと考えております。

組合といたしましては、環境変化への対応はもちろん、各種の事業を通じ、組合員各社の経営環境を様々な面から支援し、経営基盤の充実を図り、以って卸団地の活性化を目指してまいります。

本年も変わらず関係皆様のご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

群馬県中古自動車販売商工組合

理事長 野村 隆二

中古車販売業界を取り巻く環境は、仕入・販売両面から厳しい状況が続いています。昨年の上半期は小売の低迷などから若干苦戦を強いられましたが、成約率では前年比5%増となり、オークション内容は好ましい方向へと向かいました。

また、後半は繁忙期となり、数量的には見通しの目途が立ち、それを確実なものとするため、特に人員体制と営業力の強化を図り、積極的に会員のところを訪問するなど、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

ユーザーに対し、良質な商品自動車の安定かつ継続的な供給を有効なものとするため、今年度も、着実に成果を出し始めているインターネットを利用した情報提供システムやライブシステムを活用し、公正な市場と組合組織強化を図り、事業拡大と収益確保を図っていく所存であります。

今後とも関係機関各位のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

群馬県貨物運送事業協同組合連合会

会長 大野 孫一

昨年は軽油価格の高騰、首都圏のディーゼル車乗入れ規制に対応するための車両の代替や粒子状物質減少装置の装着、大型車への速度抑制装置の装着義務付けへの対応、高速道路割引制度利用への対応のためのETC車載器の装着等、コストアップ要因が相次ぎ、さらに運賃単価の下落も伴い、その経営環境は厳しい一年でした。日本道路公団の高速道路別納割引制度については、長年利用してきた現行制度が本年三月で終了し、新たに大口・多頻度割引がスタートすることとなりますが、運送協同組合にとっては、別納利用は、事業の柱のひとつであるため、今年は大きな経済的転換期を迎えています。

当連合会では、今後も関係団体・機関と連携を図りながら、諸事業を実施してまいりたいと思っております。

本年も皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

群馬県環境資源保全事業協同組合

理事長 城 田 裕 司

私ども処理業界を取り巻く社会情勢は、経済の厳しい動向と景気の低迷による不安など諸課題が山積しております。戦後の経済成長がもたらした産業・消費・物流機構の進展から生じた廃棄物処理に係る不適正処理・不法投棄・大気汚染・土壌汚染など自然破壊におよぶ環境悪化は、現在において人類の生態系・生命の危機感として大きな社会問題であります。国においては環境の世紀として唱え、環境保全型・資源循環型社会の形成構築を重要施策に掲げ、廃棄物処理法の改正をはじめ、様々に法律改正・施行など施策が講じられております。

近時の処理業界は静脈産業としての社会的地位が認知され、急変する状況を踏まえ、業界の資質向上はもとより、企業人としての責務・使命感による意識改革は必至であります。

廃棄物に係る再資源化・減量化・適正処理の推進を図るとともに、一般社会に向けての普及啓発活動

を積極的に展開し、社会ニーズに応じ得る業界組織と処理体制の構築は必要不可欠であります。

本年も自然と人との共生を理念に、環境保全と産業振興の発展を期して、産・学・官の連携による研究開発の促進、適正処理に関する県民参加型の健全な循環型施設の設置、環境教育会館の建設等の早期実現など環境整備の推進を図り、郷土の美しい環境を未来に継承するために組織一丸となり努力邁進する所存であります。

今後とも関係機関並びに関係団体の皆様のご指導、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県管工設備協同組合

理事長 矢 野 純 三

景気回復状況は地域や業種などによる温度差が大きいと言われています。こうした不透明な時期こそ、世の中の動きを見極め自社の力を熟知した上で目標を定め、何をすべきかを相談し合い、数年先の会社の姿を思い描いて計画を策定し、これを信じて実践することが肝要と思います。目標を持つことは私たちに勇気を与えます。

当組合も各社の健全な発展を願い事業発展を積極的に推進して参ります。明るい未来を目指しお互いに信頼と協調の精神で乗り切っていければと念じております。

皆様のご健勝をお祈りし年頭の挨拶と致します。

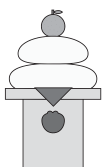
群馬県冷凍空調設備工業組合

理事長 中 西 保

私たち中小企業の景況は、一部業種で回復傾向が見られますが、先行き楽観出来ない状況が続いております。建設業界においては公共事業が年々縮小して、これに伴い受注件数が激減しております。

当組合では経営合理化及び技術向上を主目的に事業の発展を目指しているところですが、今年は組合のあり方（運営の合理化）を検討して効率よい運営を実施して行きたいと思っております。

今年一年が皆様の事業繁栄につながる良い年となりますようご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



全国事例組合情報報

住基カードでポイントサービス 【岩手県】

「協同組合盛岡ショッピングセンター・ナックス」では、住民基本台帳カード（住基カード）の所有者にポイントが付くサービスを実施している。

このサービスは、住基カードを提示すると登録され、お買上げ百円ごとに既存のナックスカードとは別にポイント加算される。翌月、サービスカウンターで、データに記録された一カ月分の割り増しポイント分をナックスカードに入れることができ、結果的にはポイントが倍になる仕組み。

同組合では、ナックスカードを利用して町民への感謝とともに、住基カードの普及を支援している。

木製ガードレールを開発 【北海道】

旭川市内の企業四社が集まり設立した「北海道産木材利用協同組合」では、道産材を使った木製ガードレールを試作。観光地での採用を働きかけている。

試作した木製ガードレールは、直径二十センチと十八センチのカラマツの間伐材二本を使用。鋼製の支柱に取り付け、裏側を鉄板で補強し強度を持たせているほか、使用済みエンジンオイルを木製の中心部まで染み込ませ、防腐処理を施している。

価格は、従来の鉄製ガードレールと同レベルで、一メートル当たり二万五千円。環境に優しく、自然景観と調和しやすいなどの利点がある。

ネットショップを開設 【岩手県】

元気な女性達のパワフルなネットワークを活用し、地域活性化のため様々なコミュニティ事業を展開している「企業組合コンシェルジュ」では、県内の障害者福祉施設で作った商品や、地場産品などを販売するネットショップを開設した。

ネット販売しているのは、障害者福祉施設などで作った無添加固形せっけんや県産小麦粉を使用したクッキー、地域の特産品など。女性の視点や消費者の声を反映した安全・安心な商品を提供するほか、障害者の社会参加支援にもつなげている。

ホームページのアドレスは、
<http://www.my-ccg.com/>

招き猫で町おこし 【滋賀県】

「彦根夢京橋商店街振興組合」では、全長三百五十メートルにわたる江戸時代の町並みが再現された夢京橋キャッスルロードで「いい福招福まつり」を開催した。

タカ狩りの帰り道、猫の手招きで寺に入った第二代彦根藩主井伊直孝一行が豪雨の難を逃れたという言い伝えに基づく「招き猫伝説」を商店街の活性化に活かそうと開催されたもの。

招福猫は、家内安全、商売繁盛、心願成就の象徴とされ、期間中は、オリジナル招き猫の販売やスタンプラリー、招き猫作家による個展や楽市、手彫り招き猫のハンコ実演販売等が行われ、大勢の来街者で賑わいを見せている。

Union
Information

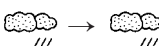
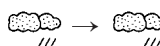
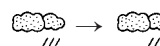
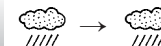
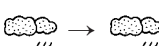
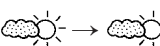
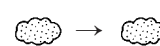
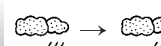
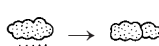
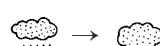
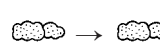
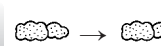
ここに掲載した情報は、全国中央会が全国の組合等に関する情報を収集・編集した「地域組合情報」より抜粋したものです。詳細情報をご希望の方は、本会情報課までご連絡ください。

業況、依然として低調

11月分の報告より

業界 WEATHER

全 体 10月 11月
 前年同月比

製造業		窯業・土石製品		非製造業		サービス業	
食料品		機械・金属		卸売業		建設業	
繊維・同製品		その他		小売業		運輸業	

概況

製造業は、受注が低調に推移するなか、依然素材・原油価格の上昇により収益を圧迫。非製造業は、気温が高めに推移したことや震災の影響が尾をひき、消費が盛り上がり売上は低調。業況、依然として低調。

食料品	小麦粉需要は、生麺が需要期で前年を上回るも、即席麺、パンはともに低調、全体では前年並みに推移。特にパンは、ノロウィルス等が多発する時期で衛生管理面の注意を喚起。漬物は、原料野菜高騰で出荷調整も。
繊維・同製品	桐生は、和装・服地とも全体に低調に推移しているが、輸出関連でサンプル等の引合いが増加傾向。伊勢崎は、銘仙が比較的順調なほか、干支の掛軸等で受注も出始めている。繊維製品は、秋冬物が例年になく低調。
窯業・土石製品	生コン出荷量は前年を下回り、公共工事が減少する中で民間需要の増加も見込めず厳しい経営状況。コンクリート製品も製品価格低迷により厳しい業況。ブロックは、値戻しで適正価格の受注確保が進む。
機械・金属	自動車関連を中心に引き続き受注は堅調に推移しているが、原油価格や鋼材など素材価格の高騰が依然として収益を圧迫。大手自動車メーカーが一部で操業を停止したことにより、今後の影響を危惧する声も。
その他	原木市場は、スギ・ヒノキなど一部新材で売れ足が早く入荷不足になる原木もあり、価格にバラツキが見られるものの、全体的には売上は低調に推移。段ボール・印刷は、年末需要の前倒し傾向から売上はやや増加。
卸売業	冬物衣料の動きが鈍く繊維関係で売上は低調に推移。販売価格も取扱品により格差が見受けられるが全体的に低下しており、収益状況は厳しい。生鮮野菜は高騰、果実は品薄で、今後も高値での推移が予想される。
小売業	家電は、展示会などで販売促進を図るも全体に売上が伸びず低調。石油は、東毛地区で価格競争が激しく地域間で格差も。商店街は、冬物衣料が売れず売上は大幅減、恒例の蚤ひす講市も売上増加に結びつかず苦慮。
サービス業	温泉旅館は、予想以上に中越地震による影響が大きく、キャンセルだけでなく新規の予約も減少、全体に売上は前年割れ。自動車整備需要は前年並みで推移するものの価格は低迷。不動産は、実需中心の取引が続く。
建設業	業者数が多いことから受注競争は激しく、公共工事など全体に受注額が減少するなかで、廃業や事業を縮小する企業が後を絶たない。鉄鋼業は、店舗や工場などの受注が増加、依然鋼材の品不足が続く価格は高騰。
運輸業	飲料水や輸出向け機械関連が活発で、全体的に荷動きは堅調に推移。一方、燃料価格高騰によるコストアップ分を価格に吸収できず、採算の厳しい長距離便を敬遠するところも見受けられるなど、収益状況は厳しい。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数 91.5 (前年同月比▲2.7) 「県統計課・9月」
- 販売電力量 131,485万KW/H (前年同月比101.5%) 「東電群馬支店・10月」
- 住宅着工戸数 1,597戸 (前年同月比109.2%) 「県建築住宅課・9月」

- 求人倍率 新規2.40倍・有効1.49倍 「群馬労働局・10月」
- 大型小売店販売額 240億円 (前年同月比101.2%) 「経済産業省・10月」
- 消費者物価指数 98.3 (前年同月比▲0.4) 「県統計課・10月」
 (鉱工業生産指数・消費者物価指数は12年=100とした指数)

新年会開催のご案内

群馬県中央会

本会では、恒例の新年会を左記の通り開催致します。

多数のご出席をいただきますよう、お願い申し上げます。

・日程 一月十九日(水)

・場所 前橋商工会議所会館

・内容等

①新春講演会

午後一時三十分～二時五十分

〈テーマ〉

二〇〇五年日本経済の行方

〈講師〉

三井住友アセットマネジメント(株)

チーフエコノミスト

宅森昭吉氏

②懇親会

午後三時～四時三十分

・会費 一人 五千元

※お申込みは本会総務課まで。

六十五歳継続雇用セミナーのご案内

群馬県中央会

改正高年齢者雇用安定法の公布に伴い、本会では、今後の企業経営に役立つ制度の導入に向けてのセミナーを左記の通り開催いたします。奮ってご参加下さい。

・日程等

〈伊勢崎会場〉

一月二十八日(金) 午後二時～

伊勢崎プリオパレス

〈太田会場〉

二月四日(金) 午後一時三十分～

グレースフォート

〈桐生会場〉

二月八日(火) 午後二時～

桐生プリオパレス

〈富岡会場〉

二月十日(木) 午後二時～

ホテルアミューズ富岡

※お申込みは本会情報課まで。

個人情報漏えい賠償責任保険のご案内

群馬県中央会

四月一日から個人情報保護法が全面施行され、個人情報を取り扱う事業者に対し、安全管理措置等の義務が課せられます。

そこで、全国中小企業団体中央会では、中央会の会員団体及び傘下中小企業事業者のための「個人情報漏えい賠償責任保険制度」を創設し、募集を開始しています。

・補償内容 個人情報漏えいした際に事業者が被る賠償損害や、事故解決のために要する謝罪広告掲載費用及び見舞品購入費用等の費用損害を補償。

・加入申込

平成十六年十二月十日～

平成十七年一月三十一日

※中途加入も可。無料のリスク診断サービス付

・保険期間

平成十七年三月二十五日～

平成十八年三月二十五日

・保険料

売上高、業種、情報管理状況等により算出。

※詳細は、本会情報課まで。

法定調書の提出は一月三十一日まで

関東信越国税局

給料・報酬・料金などの支払先等を記載した法定調書は、前年中の支払分をまとめて作成し税務署に提出するもので、提出期限は、利子、配当などの一部を除き一月三十一日までとなっています。期限に遅れないよう提出して下さい。

◆一月の金融相談所スケジュール

◆商工中金前橋支店

午後一時～午後三時

◆太田商工会議所

一月五日、十二日、十九日、二十六日

編集後記

▼新年明けましておめでとうございます。暖冬異変で十二月中旬に梅が開花したとのこと。一体最近の気象はどうなっているのでしょうか。冬物衣料や暖房機器等売行き不振が伝えられています。スキー場も多い本県としては経済への悪影響が気になるようです。

▼本誌もこの一月号からA四版に変わりました。表紙も一新し、創刊以来初めて写真で飾ってみました。新春の特別企画として、業界・組合リーダーの方々から年頭所感をいただきました。バブルが弾け、平成不況に陥り今年の酉年でちょうど干支が一巡したことになります。この間、中小企業は常時厳しい局面に立たされ、耐えの経営を余儀なくされてきたように思います。それだけに各リーダーの方々の今年に賭ける意気込みの強さを感じさせられます。

▼昨年の世相を象徴する漢字は「災」。地震、台風などの天災に加え、人質殺害、幼児虐待、子供の殺人、放火など、戦争や人心の荒廃がもたらした人災が相次いだだけに、なるほどと思わされます。因みに、一昨年から過去に遡ってみると、虎、帰、戦、金、末、毒、倒、食、震……。一過性の熱狂は別として、全体的に暗い世相が浮き彫りにされているような気がします。今年こそ一転「福」としたいものです。